

(別添 9)

告示された測定方法（生物検定法）に関する問い合わせ先

告示番号	方法名	問い合わせ先
第 1 の 1	前処理に、硫酸シリカゲルカラム及び活性炭カラムを使用し、測定に、ダイオキシン類応答性組換え細胞 H1L6.1c2 を用いたレポーター遺伝子アッセイを利用してダイオキシン類の毒性等量を測定する方法	本方法に関しては、株式会社日吉からケイラックス [®] アッセイ (CALUX [®] Assay) として提供されています。本方法を自社で取り扱いたい分析機関におかれましては、株式会社日吉にお問い合わせ下さい。
第 1 の 2	前処理に、硫酸シリカゲルカラム及び活性炭カラムを使用し、測定に、ダイオキシン類応答性組換え細胞 101L を用いたレポーター遺伝子アッセイを利用してダイオキシン類の毒性等量を測定する方法	本方法に関しては、日本環境株式会社から P450 Human Reporter Gene System (P450HRGS) として提供されています。本方法を自社で取り扱いたい分析機関におかれましては、日本環境株式会社にお問い合わせ下さい。
第 1 の 3	前処理に、多層カラムを使用し、測定に、ダイオキシン類応答性組換え細胞 HeB5 を用いたレポーター遺伝子アッセイを利用してダイオキシン類の毒性等量を測定する方法	本方法に関しては、株式会社住友化学から Ah ルシフェラーゼアッセイとして提供されています。本方法を自社で取り扱いたい分析機関におかれましては、株式会社住友化学にお問い合わせ下さい。
第 1 の 4	前処理に、硫酸シリカゲル加熱還流法を利用し、測定に、ダイオキシン類応答性組換え細胞 H4II E-luc を用いたレポーター遺伝子アッセイを利用してダイオキシン類の毒性等量を測定する方法	本方法に関しては、株式会社カネカテクノロジーから DR - CALUX として提供されています。本方法を自社で取り扱いたい分析機関におかれましては、株式会社カネカテクノロジーにお問い合わせ下さい。

第1の5	前処理に、多層シリカゲルカラム及びアルミナカラムを使用し、測定に、ダイオキシン類応答性組換え細胞 DR-EcoScreen を用いたレポータージーンアッセイを利用してダイオキシン類の毒性等量を測定する方法	本方法に関しては、北海道立衛生研究所から DR-EcoScreen アッセイとして提供されています。本方法を自社で取り扱いたい分析機関におかれましては、北海道立衛生研究所にお問い合わせ下さい。
第1の6	前処理に、硫酸及び多層シリカゲルカラムを使用し、測定に、ダイオキシン類、アリール炭化水素受容体及びアリール炭化水素受容体核運搬タンパク質の複合体形成反応を利用してダイオキシン類の毒性等量を測定する方法	本方法に関しては、エンテストジャパン株式会社から Ah イムノアッセイとして分析キットが提供されています。本方法を自社で取り扱いたい分析機関におかれましては、エンテストジャパン株式会社にお問い合わせ下さい。
第2の1	前処理に、多層シリカゲルカラム及び活性炭カラムを使用し、測定に、抗ダイオキシン類モノクローナル抗体及びプレート固相抗原を用いた間接競合酵素免疫測定法を利用してダイオキシン類の毒性等量を測定する方法	本方法に関しては、株式会社環境ソルテックからダイオクイッカー（又は、5-F 抗体酵素免疫法）として分析キットが提供されています。本方法を自社で取り扱いたい分析機関におかれましては、株式会社 環境ソルテックにお問い合わせ下さい。
第2の2	前処理に、多層シリカゲルカラム及び活性炭カラムを使用し、測定に、磁性ビーズ固定化抗ダイオキシン類モノクローナル抗体及び酵素標識抗原を用いた直接競合酵素免疫測定法を利用してダイオキシン類の毒性等量を測定する方法	本方法に関しては、東ソー株式会社 バイオサイエンス事業部から TOSOH EA-テスト ダイオキシン類として分析キットが提供されています。本方法を自社で取り扱いたい分析機関におかれましては、東ソー株式会社 バイオサイエンス事業部にお問い合わせ下さい。

第2の3	前処理に、多層シリカゲルカラム及びアルミナカラムを使用し、測定に、抗ダイオキシン類モノクローナル抗体及びプレート固相抗原を用いた間接競合酵素免疫測定法を利用してダイオキシン類の毒性等量を測定する方法	本方法に関しては、東和環境科学株式会社からダイオキシンエライザキットTKとして分析キットが提供されています。本方法を自社で取り扱いたい分析機関におかれましては、東和環境科学株式会社にお問い合わせ下さい。
第2の4	前処理に、多層シリカゲルカラム及びアルミナカラムを使用し、測定に、抗ダイオキシン類モノクローナル抗体及び抗原固相化ビーズを用いた結合平衡除外法を利用してダイオキシン類の毒性等量を測定する方法	本方法に関しては、京都電子工業株式会社からダイオキシン簡易分析システムとして分析キットが提供されています。本方法を自社で取り扱いたい分析機関におかれましては、京都電子工業株式会社にお問い合わせ下さい。

注： 上記測定方法は、法に基づく測定であることにかんがみ、非差別的かつ妥当な条件で、上記機関等との契約等のもと、分析機関へ提供されることとなっています。

なお、各分析機関において上記測定方法を扱っているかどうかについては、各分析機関にご確認下さい。